

西多摩の水害対策で要望

赤羽国交相に党都本部

住民アンケート踏まえ



赤羽国交相(中央右)に要望書を提出する高木(陽)都代表(左隣)ら=17日 国交省

公明党東京都本部の高木陽介代表(衆院議員)は17日、西多摩総支部の原田剛総支部長(福生市議)らと

共に、国土交通省に赤羽一嘉国交相(公明党)を訪ね、西多摩総支部と青梅総支部(総支部長=石居尚郎羽村

市議)が実施した住民アンケートを基にまとめた西多摩地域の土砂災害・水害対策の強化を求める要望書を提出した。

高木代表と原田総支部長らは、昨秋の台風19号の影響で西多摩地域で土砂崩れや越水などにより甚大な被害が発生したことに言及し、治水のためのハード整備の計画見直しや、河川の正常な機能維持のため本川や支川など水系一貫とした河川整備を要請した。

赤羽国交相は国と関係自治体で連携し「流域治水を考えていく」と述べた。

要望には、党都本部の高木美智代代表代行(衆院議員)と竹谷とし子(参院議員)、岡本三成(衆院議員)の両副代表も同席した。